



遺構調査



H-2



H-3 (右手前)・H-5 (左奥)



P-23



P-33



縄文時代前期・中期の土器



縄文時代後期の土器

例 言

1. 本書は、独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構による北海道新幹線建設事業工事に伴い、財団法人北海道埋蔵文化財センターが平成21・22年度に委託を受けて実施した、木古内町蛇内2遺跡の埋蔵文化財発掘調査報告書である。
2. 報告内容は、蛇内2遺跡の平成21年度調査範囲（10,430㎡）および平成22年度調査範囲（850㎡）、計11,280㎡の遺構と遺物である。
3. 調査は第1調査部第3調査課が担当した。
4. 本書は、立川トマス、菊池悠人、新家水奈、芝田直人、酒井秀治、佐藤和雄が執筆し、文末に執筆者を示した。編集は芝田が担当した。
5. 遺物の整理は土器を芝田、石器等を酒井が担当した。
6. 現地調査での写真撮影は各担当者が、室内での写真撮影・整理は菊池が担当した。
7. 放射性炭素年代測定については、株式会社加速器分析研究所に依頼した。
8. 調査報告終了後の出土遺物は、木古内町教育委員会で保管される予定である。
9. 調査にあたっては、下記の諸機関および諸氏に御協力、御指導をいただいた。

独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構、木古内町教育委員会、北斗市教育委員会、知内町郷土資料館、市立函館博物館、七飯町歴史館、大沼忠春、木元 豊、佐藤智雄、高橋和樹、高橋豊彦、時田太一郎、西脇対名夫、福田裕二、森 靖裕、山田 央、横山英介（五十音順）

記号等の説明

1. 遺構の表記には以下の記号を用い、原則として確認順に番号を付けた。

H：住居跡 HF：住居にともなう焼土 HP：住居にともなう土坑・柱穴

P：土坑 SP：小土坑、F：焼土 S：集石 FC：剥片集中

2. 遺構図等の方位は真北を示す。遺構平面図の「+」は調査区または小調査区ラインの交点で、傍らの名称記号は右下の調査区を表す。また、「・」小数字とセクションレベルは標高(単位m)である。
3. 掲載した遺構・遺物の図は基本的に以下の縮尺に統一した。ただし、遺構位置図、地形図、遺物出土状況図などは任意の縮尺であるため、各図にはスケールを付けてある。

遺 構 1：40 復元土器 1：3 拓本土器 1：3 剥片石器 1：2
磨製石器 1：2 礫石器 1：3 土製品 1：2 石製品 1：2

4. 遺構の規模は、遺構に外接する直方体を設定して求めた(単位m)。
5. 土層の表記は、基本土層についてはローマ数字(I、II、III・・・)、遺構内の層序についてはアラビア数字(1、2、3・・・)を使用した。
6. 土層の色調は『新版標準土色帖29版』(小山・竹原2007)に準じた。
7. 火山灰は『北海道の火山灰』(北海道火山命名委員会1982)に準じ、以下の略号を用いた。

駒ヶ岳火山灰d層：K o - d 白頭山-苦小牧火山灰：B - T m

8. 遺物図右下の太ゴチックアラビア数字は掲載番号であり、これに後続する小文字アルファベット(a、b、c・・・)は同一個体を示す。
9. 復元土器の「⊕」は上面観を模式的に表したもので、十字の垂直線は下端が前面側-上端が裏面側を、十字の水平線は左端が左面側-右端が右面側を示す。「⊕」の直下の図は「⊕」に太線で示した弧の範囲の文様・器面調整を図化表現している。太線は転写範囲を表し、「⊕」の外側に太線がある場合は外面の情報、「⊕」の内側に太線がある場合は内面の情報を表現している。
10. 復元土器の断面図上方に「▼」「▽」が付されている場合、正面図に「▼」「▽」が付されている部位の断面を転写している。
11. 石器・土製品・石製品の大きさは、最大長・最大幅・最大厚(単位cm)で示した。破損しているものについては現存最大値を()、不明なものは「-」で示した。
12. 石器の実測図中でたつき痕は「V-V」、すり痕は「|←|」で範囲を示した。また、被熱部分およびアスファルト付着部分をドットのスクリーントーンで示した。
13. 文中において「北埋調報」としているものは、財団法人北海道埋蔵文化財センター調査報告書の略である。

図 版 目 次

- 図版 1 調査状況 (1)
図版 2 調査状況 (2)
図版 3 住居跡 (1)
図版 4 住居跡 (2)
図版 5 住居跡 (3)
図版 6 住居跡 (4)
図版 7 住居跡 (5)
図版 8 住居跡 (6)
図版 9 住居跡 (7)
図版10 住居跡 (8)
図版11 住居跡 (9)
図版12 住居跡 (10)
図版13 住居跡 (11)
図版14 住居跡 (12)
図版15 住居跡 (13)
図版16 土坑 (1)
図版17 土坑 (2)
図版18 土坑 (3)
図版19 土坑 (4)
図版20 土坑 (5)
図版21 土坑 (6)
図版22 その他の遺構 (1)
図版23 その他の遺構 (2)
図版24 包含層遺物出土状況
図版25 遺構の復元土器 (1)
図版26 遺構の復元土器 (2)
図版27 遺構の復元土器 (3)
図版28 遺構の復元土器 (4)
図版29 遺構の復元土器 (5)・包含層の復元土器 (1)
図版30 包含層の復元土器 (2)
図版31 包含層の復元土器 (3)
図版32 包含層の復元土器 (4)
図版33 包含層の復元土器 (5)・遺構の拓本土器 (1)
図版34 遺構の拓本土器 (2)
図版35 遺構の拓本土器 (3)
図版36 遺構の拓本土器 (4)
図版37 遺構の拓本土器 (5)
図版38 遺構の拓本土器 (6)
図版39 遺構の拓本土器 (7)
図版40 遺構の拓本土器 (8)
図版41 遺構の拓本土器 (9)
図版42 遺構の拓本土器 (10)
図版43 包含層の拓本土器 (1)
図版44 包含層の拓本土器 (2)
図版45 包含層の拓本土器 (3)
図版46 包含層の拓本土器 (4)
図版47 包含層の拓本土器 (5)
図版48 包含層の拓本土器 (6)
図版49 包含層の拓本土器 (7)
図版50 包含層の拓本土器 (8)
図版51 包含層の拓本土器 (9)
図版52 包含層の拓本土器 (10)
図版53 包含層の拓本土器 (11)
図版54 包含層の拓本土器 (12)
図版55 包含層の拓本土器 (13)
図版56 遺構の石器 (1)
図版57 遺構の石器 (2)
図版58 遺構の石器 (3)
図版59 遺構の石器 (4)
図版60 遺構の石器 (5)
図版61 包含層の石器 (1)
図版62 包含層の石器 (2)
図版63 包含層の石器 (3)
図版64 包含層の土製品・石製品

写真図版



準備工事



25%調査

調査状況 (1)

図版 2



調査状況

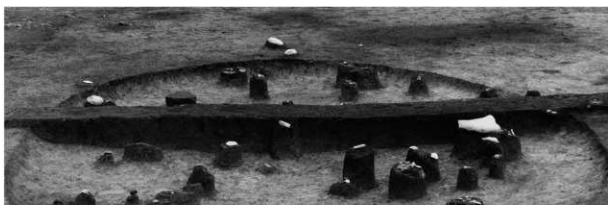


調査状況（平成22年度）

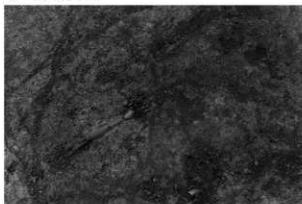
調査状況（2）



H-1 遺物出土状況



H-1 セクション



H-1 炭化物



H-1 炭化物
住居跡 (1)



H-2 遺物出土状況



H-2 セクション



H-2 HF-1 検出



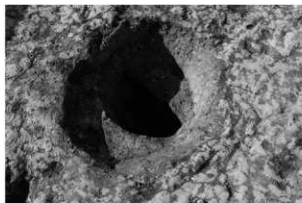
H-2 HF-2 セクション
住居跡 (2)



H-2 遺物出土状況



H-2 遺物出土状況



H-2 HP-1 セクション

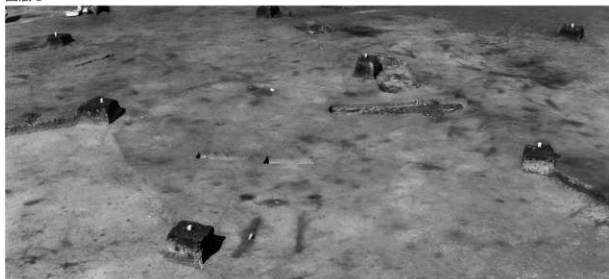


H-2 HP-7・8 セクション



H-2 HP-4・5 セクション

図版 6



H-3 完掘



H-3 入口施設セクション



H-3 HP-1セクション



H-3 HP-2セクション



H-2 HP-4セクション

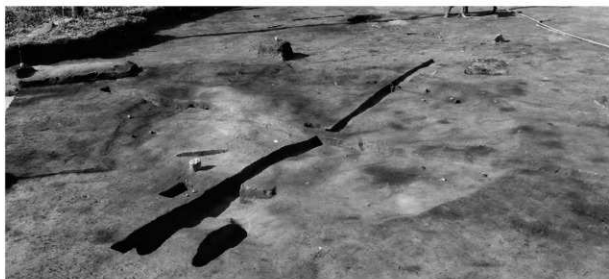
住居跡 (4)



H-4 セクション



H-4 完掘



H-5 完掘

図版 8



H-5 入口施設完掘



H-5 HF-1 検出



H-5 HP-2 セクション



H-5 HP-4 セクション



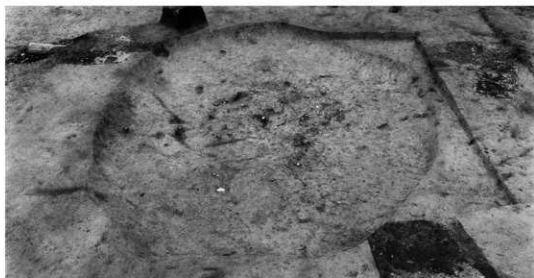
H-6 遺物出土状況



H-6 HP-1 セクション



H-6 HP-2・3 セクション



H-7 遺物出土状況



H-8 HF-1・2・3 検出

住居跡 (7)



H-9 遺物出土状況



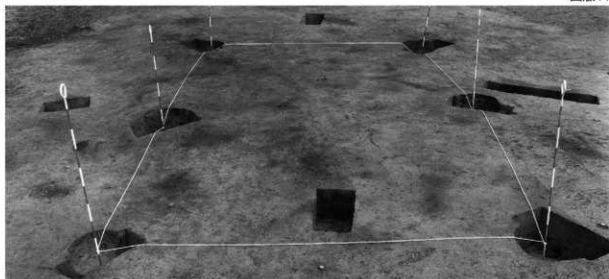
H-9 セクション



H-9 HF-1 検出



H-9 HP-2 セクション
住居跡 (8)



H-10完掘



H-10 HF-1 検出



H-10 HP-1 セクション



H-10 HP-2 セクション



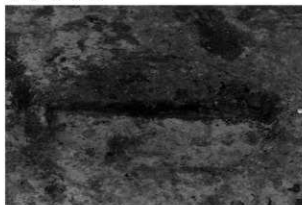
H-10 HP-3 セクション



H-11完掘



H-11セクション



H-11 HF-1セクション



H-11 HP-5セクション



H-12完掘



H-12 HF-1検出



H-12 HP-1セクション



H-13完掘

図版14



H-13 HF-1 検出



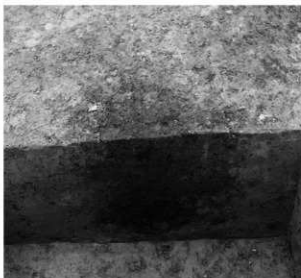
H-13 HP-2 セクション



H-14 完掘



H-14 HF-1 検出



H-14 HP-1 セクション



H-15遺物出土状況



H-15セクション



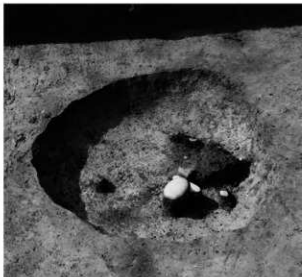
H-15 HP-2セクション



H-15 HP-3セクション



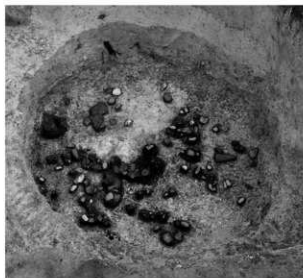
P-4セクション



P-8セクション



P-23セクション



P-23坑底



P-25遺物出土状況
土坑 (1)



P-27遺物出土状況



P-30セクション



P-33セクション



P-33坑底



P-38遺物出土状況
土坑 (2)

図版18



P-40セクション



P-46遺物出土状況



P-48遺物出土状況



P-49遺物出土状況



P-50遺物出土状況



P-54遺物出土状況



P-71遺物出土状況



P-77遺物出土状況



P-78セクション



P-78遺物出土状況



P-79遺物出土状況



P-80遺物出土状況



P-90セクション



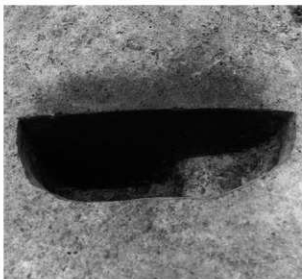
P-91セクション



P-93セクション



P-93坑底



P-92セクション



P-94セクション



P-94セクション



P-94坑底



P-95セクション



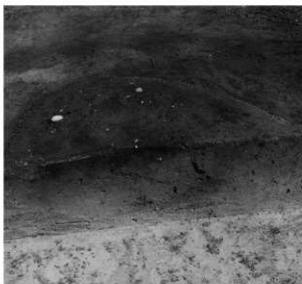
P-96セクション



F-2・F-3・FC-1検出



S-2検出



F-9セクション

その他の遺構 (1)



F-17セクション



一括土器 1



一括土器 2



一括土器 3



一括土器 5・6



石皿



擦り切り残片



三角柱形石製品



垂飾



土器他

包含層遺物出土状況



H-1 1



H-1 3



H-2 1



H-1 2



H-5 1



H-11 10



P-23 2



P-23 1



P-23 4a



P-23 18



P-25 1



P-33 1



P-27 1



P-38 1



P-40 1



P-41 1



P-71 1



P-46 1



P-50 1



P-79 1



一括土器 2 1



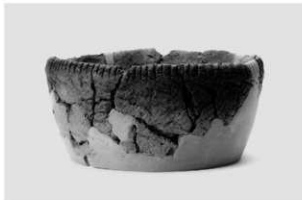
包含層Ⅱ群a類 21



一括土器 5 1



包含層Ⅱ群a類 22



一括土器 6 2



包含層Ⅱ群a類 23

遺構の復元土器 (5)・包含層の復元土器 (1)



Ⅱ群a類 24



Ⅱ群b類 29



Ⅱ群b類 30



Ⅲ群b-3類 26



Ⅲ群b-3類 27



Ⅲ群b-3類 28



IV群a類 1



IV群a類 19



IV群a類 2



IV群a類 77



IV群a類 12



IV群a類 37



IV群a類 99



IV群a類 64



IV群a類 101



IV群a類 87



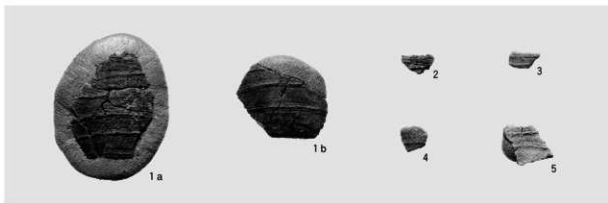
IV群a類 100



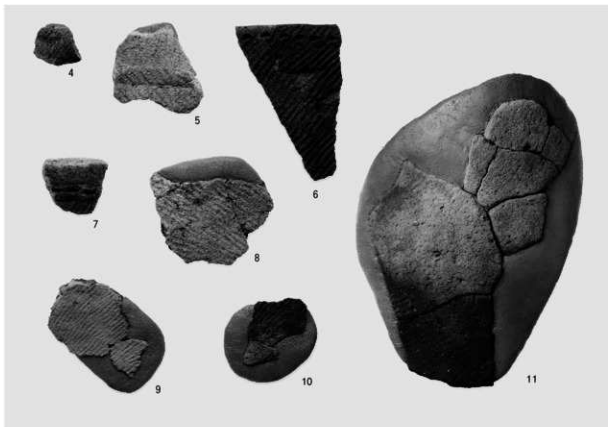
包含層IV群a類 102



包含層IV群a類 103

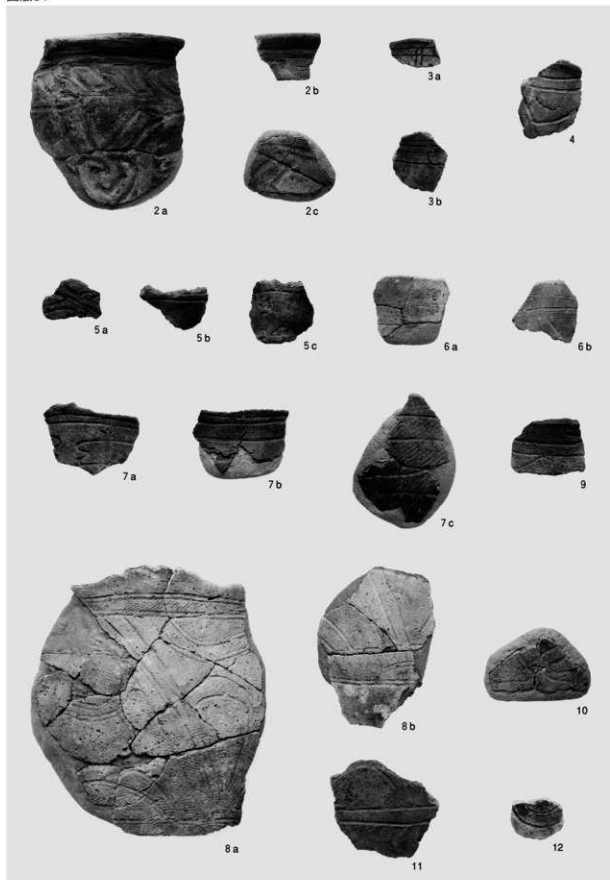


H-1



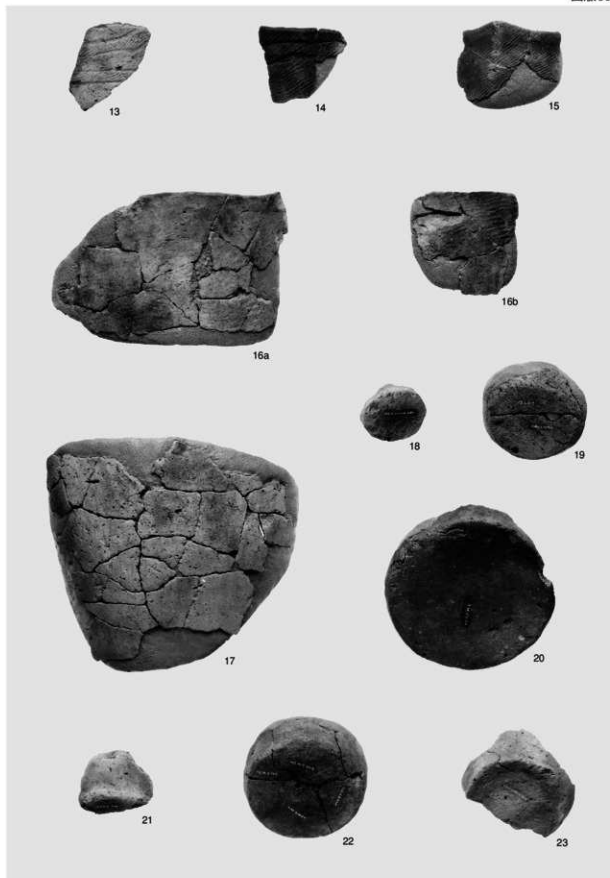
H-2

包含層の復元土器 (5)・遺構の拓本土器 (1)



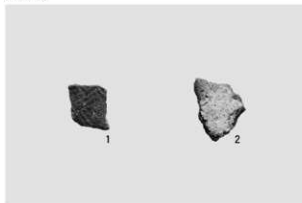
H-3 (1)

遺構の拓本土器 (2)

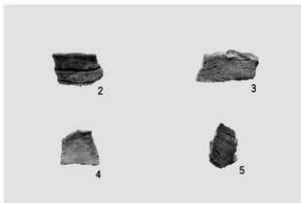


H-3 (2)

遺構の拓本土器 (3)



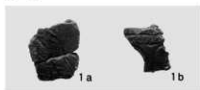
H-4



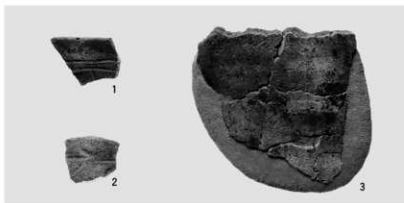
H-5



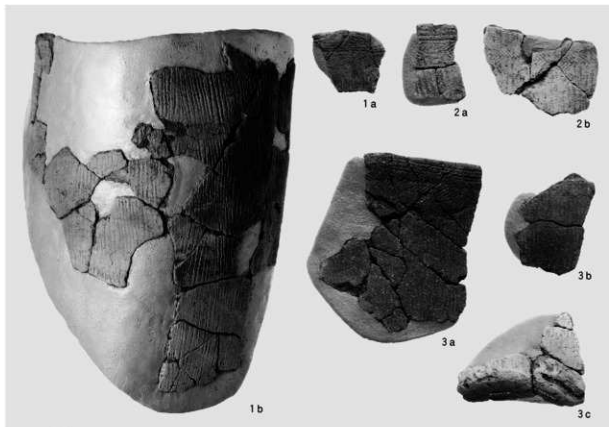
H-7



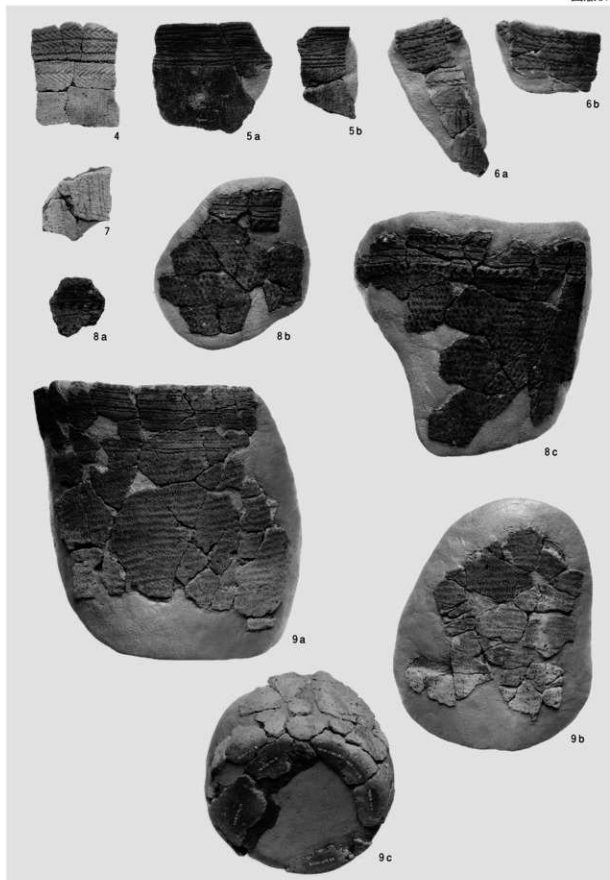
H-9



H-10



H-11 (1)



H-11 (2)

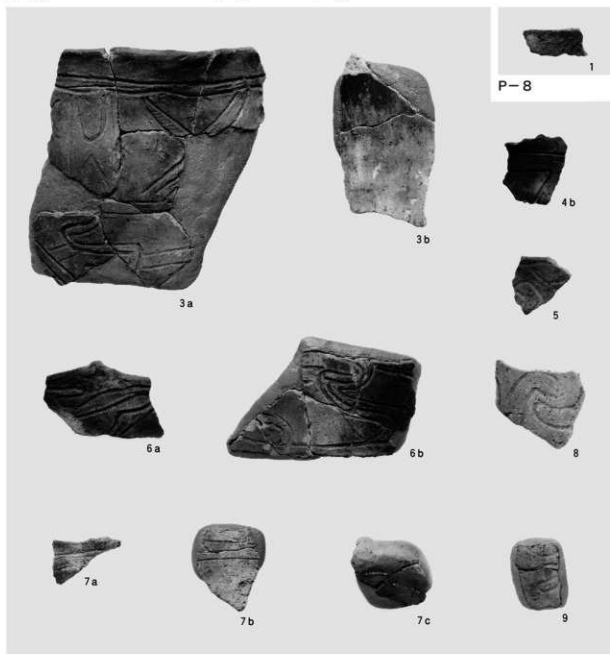
遺構の拓本土器 (5)



H-12

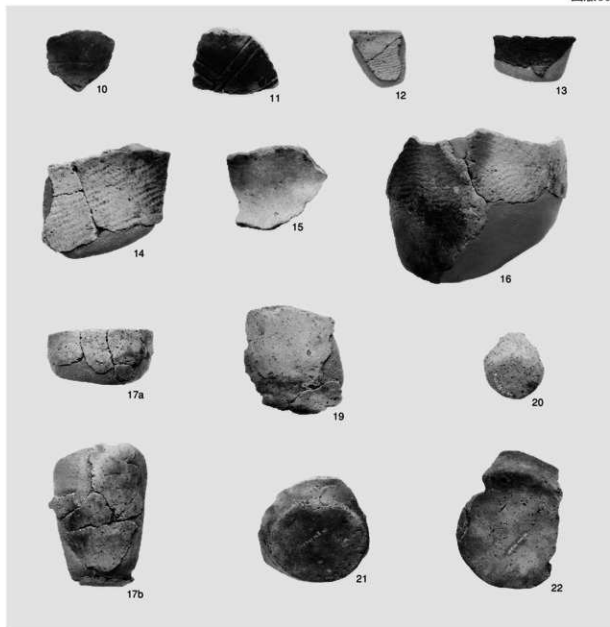
H-13

P-3



P-23 (1)

遺構の拓本土器 (6)



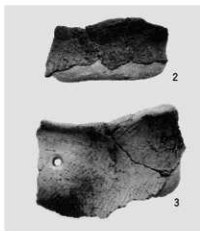
P-23 (2)



P-27

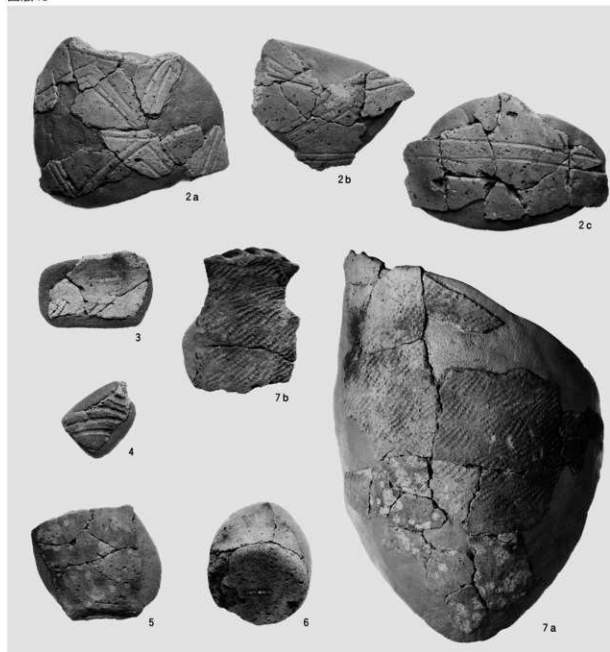


P-29



P-33

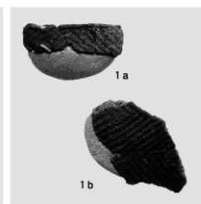
遺構の拓本土器 (7)



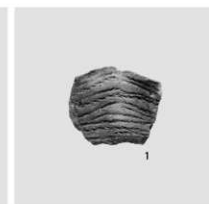
P-38



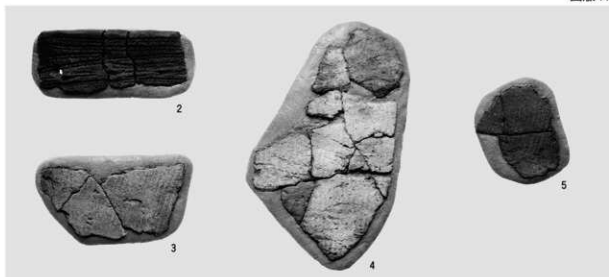
P-39



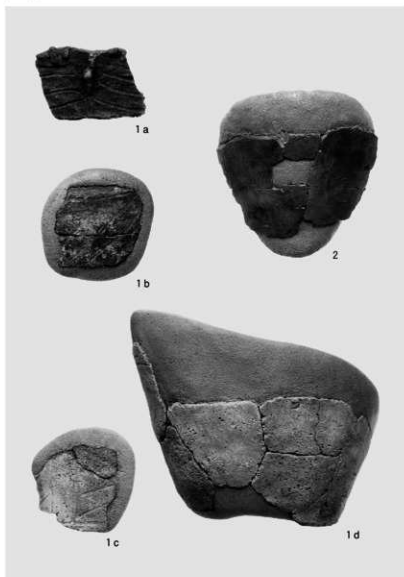
P-54



P-90



P-71



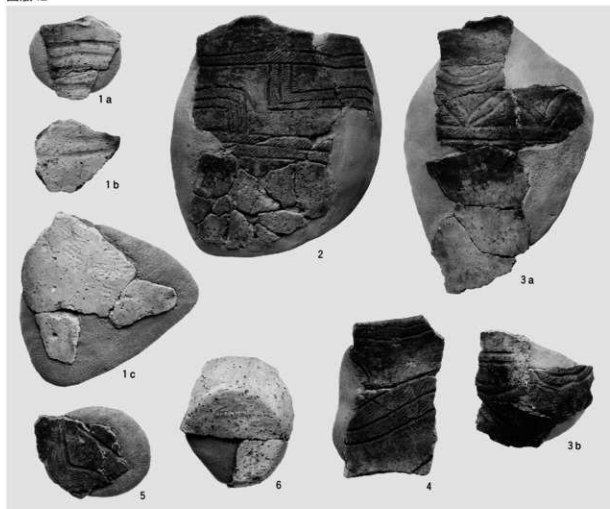
P-91



P-93



P-95



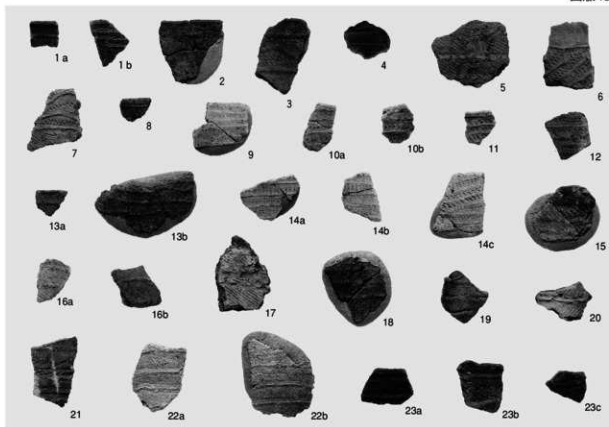
P-94



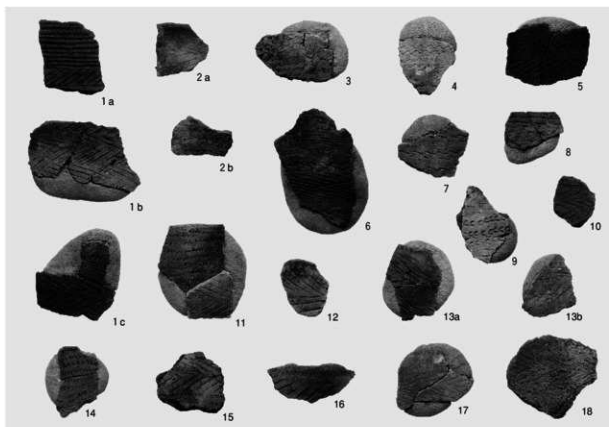
一括土器 1

一括土器 3

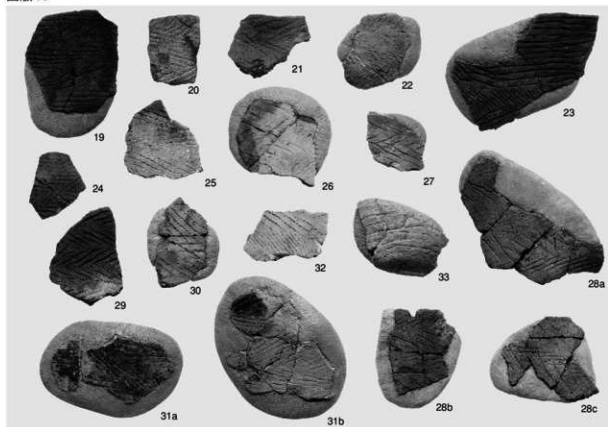
遺構の拓本土器 (10)



I群b-3類



I群b-4類 (1)

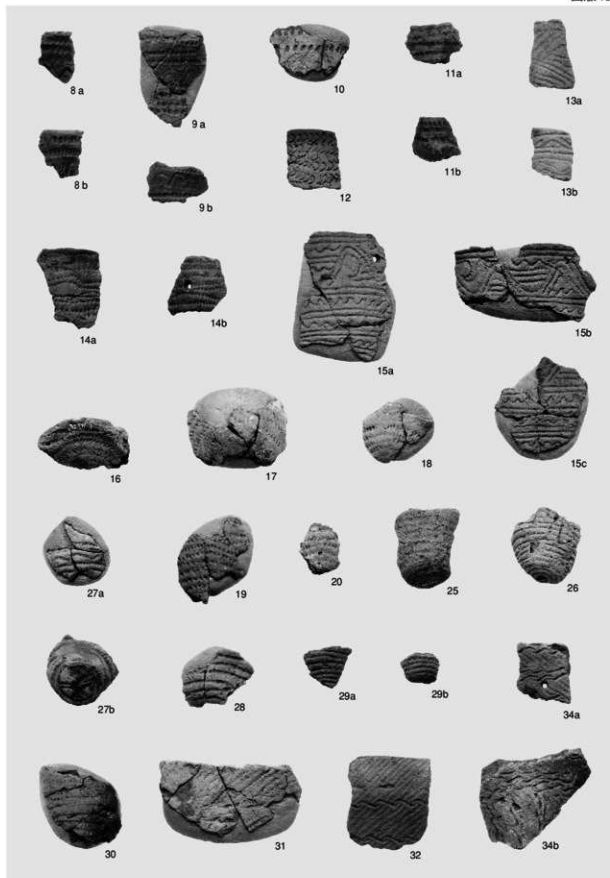


I群b-4類 (2)



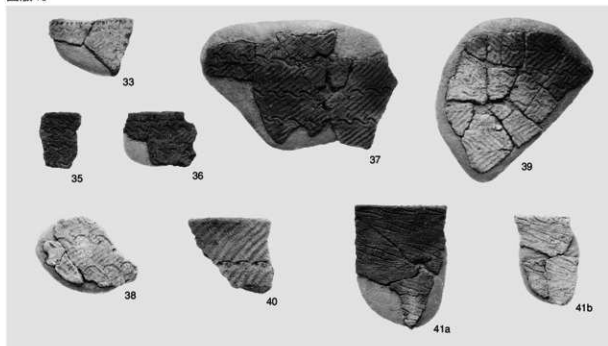
II群a類 (1)

包含層の拓本土器 (2)

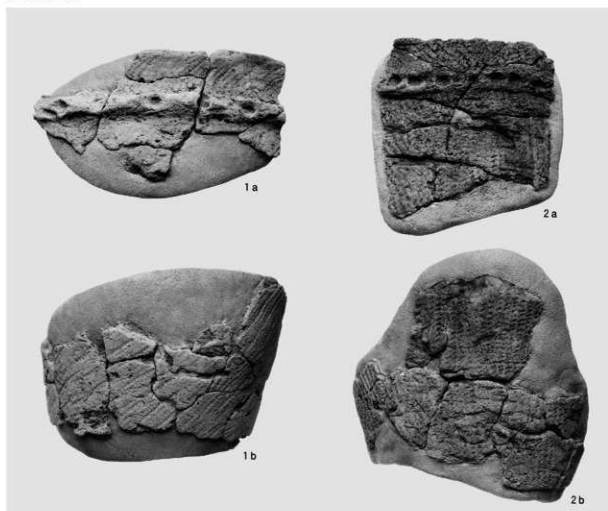


Ⅱ群a類 (2)

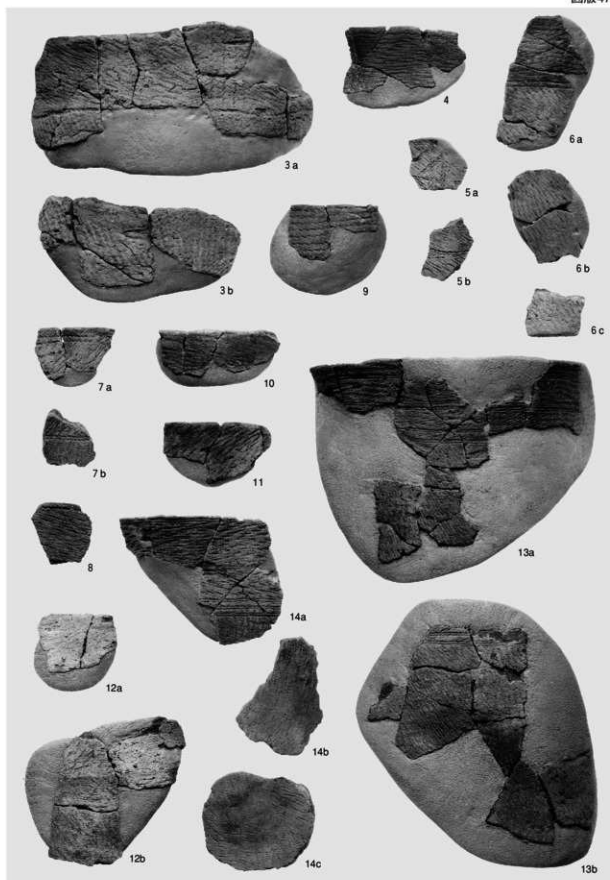
包含層の拓本土器 (3)



Ⅱ群a類 (3)

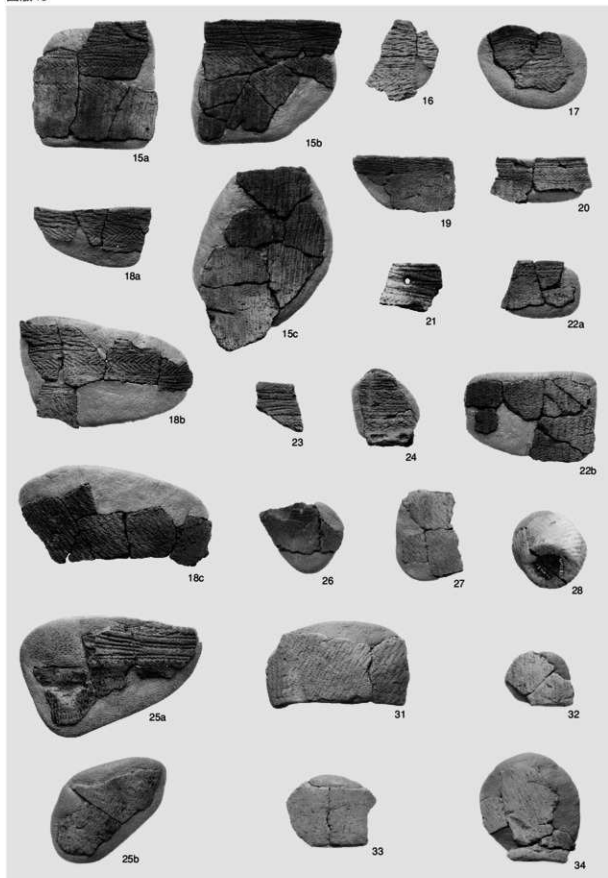


Ⅱ群b類 (1)



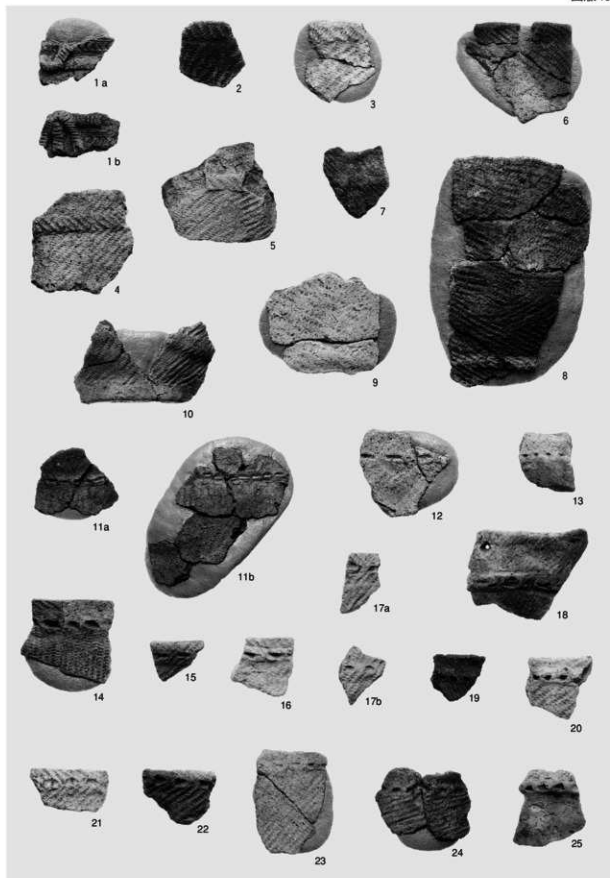
Ⅱ群b類 (2)

包含層の拓本土器 (5)



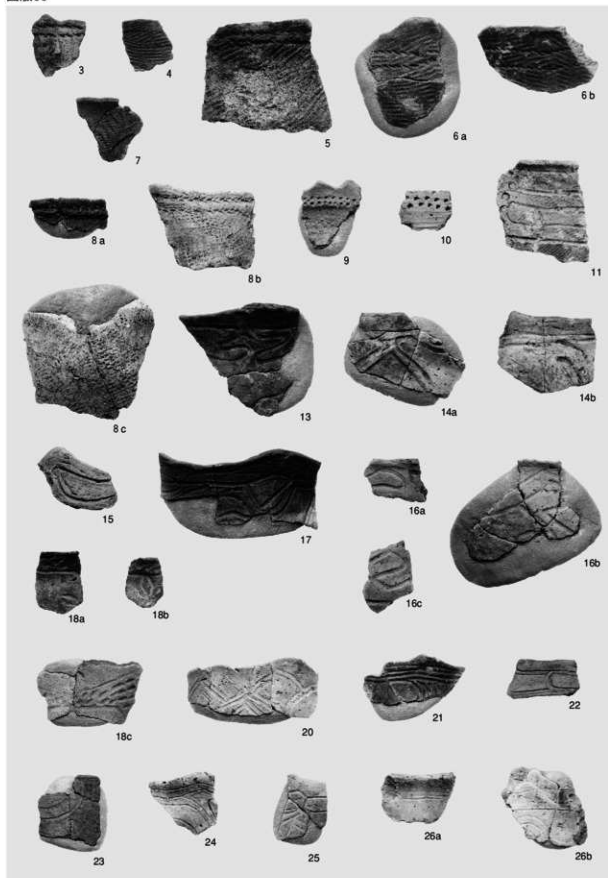
II群b類 (3)

包含層の拓本土器 (6)



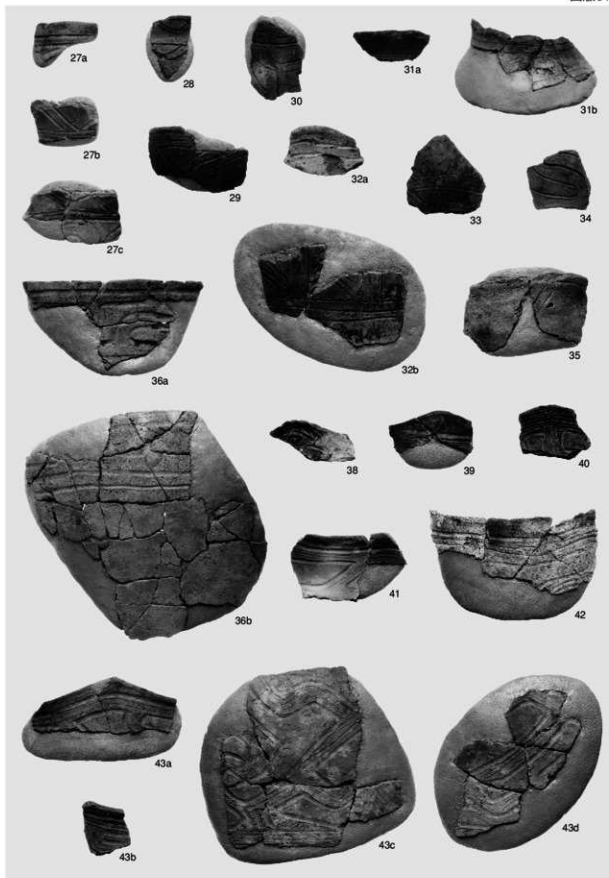
Ⅲ群a類・Ⅲ群b-3類

包含層の拓本土器 (7)



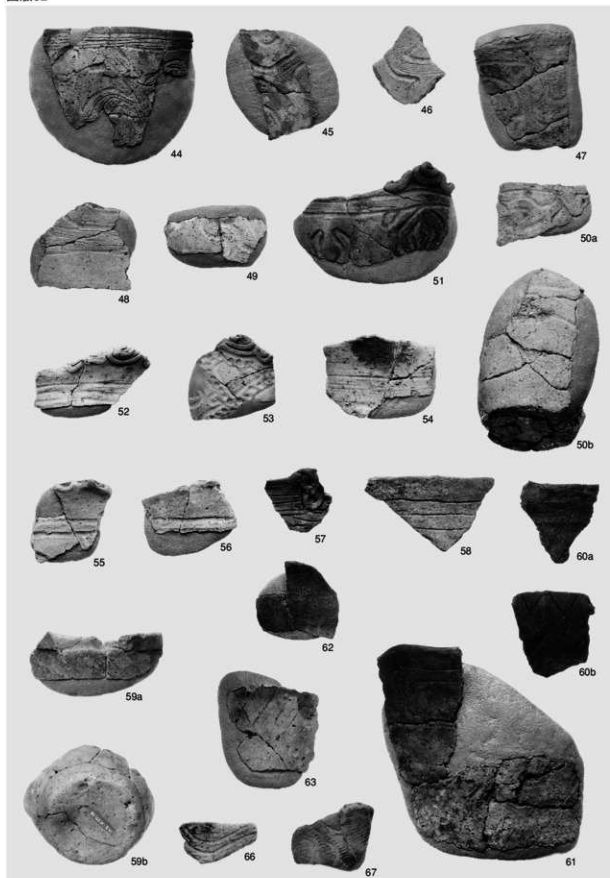
IV群a類 (1)

包含層の拓本土器 (8)



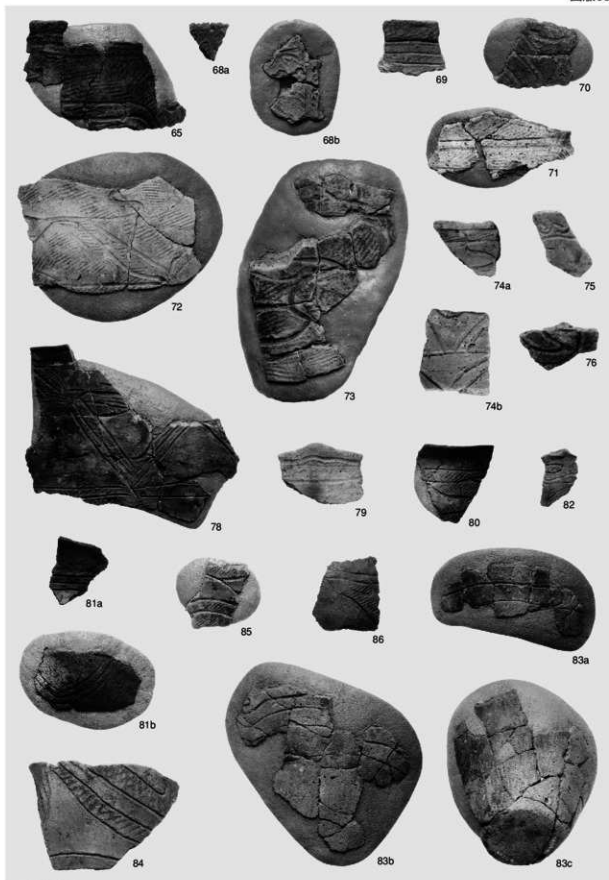
IV群a類 (2)

包含層の拓本土器 (9)



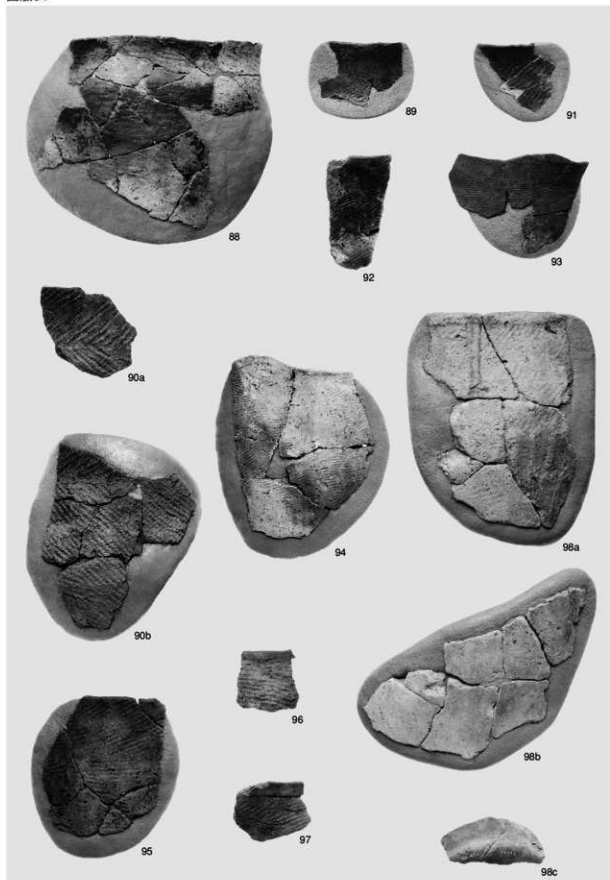
IV群a類 (3)

包含層の拓本土器 (10)



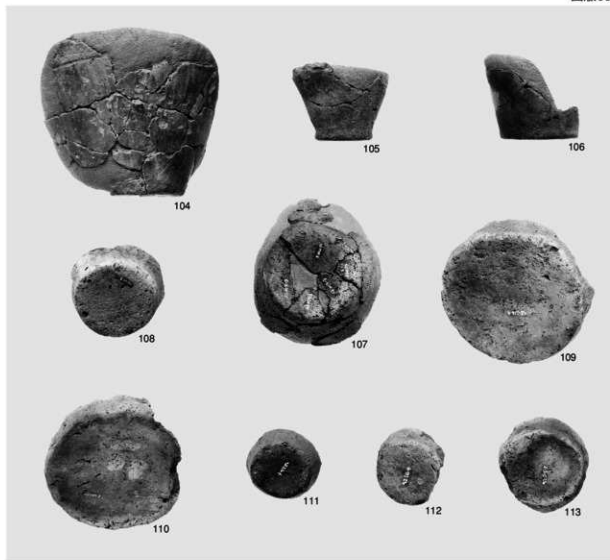
IV群a類 (4)

包含層の拓本土器 (11)

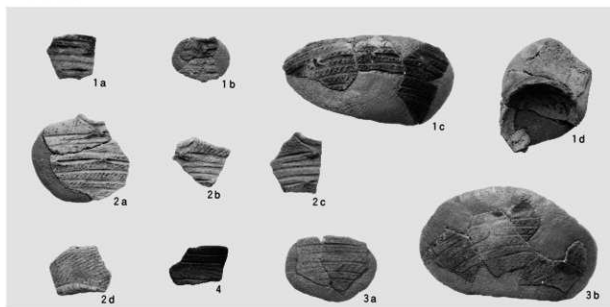


IV群a類 (5)

包含層の拓本土器 (12)



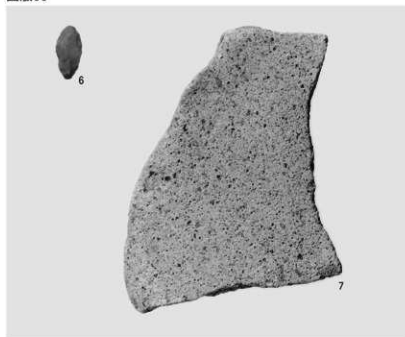
IV群a類 (6)



V群c類

包含層の拓本土器 (13)

図版56

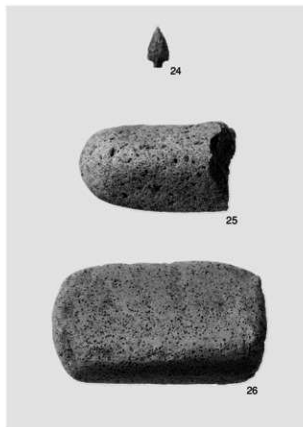


H-1

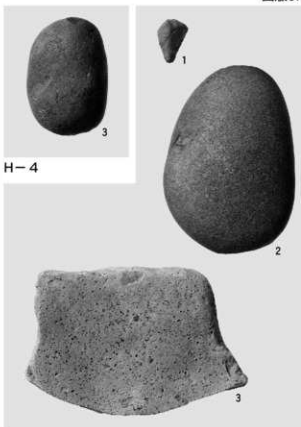


H-2

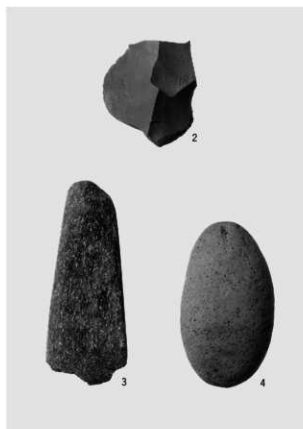
遺構の石器 (1)



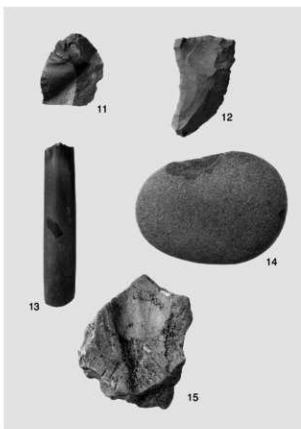
H-3



H-4



H-9



H-11



H-15



P-4



P-6



P-10



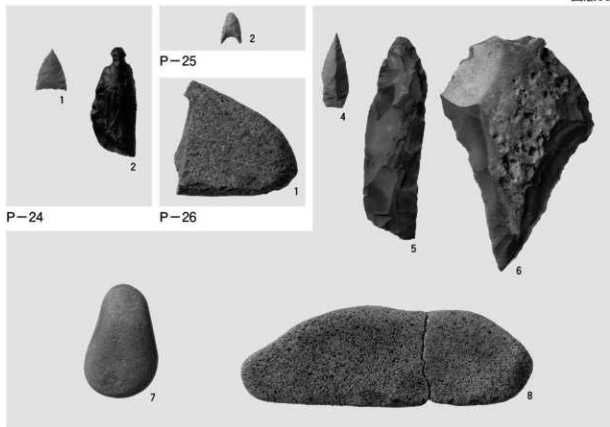
P-16



P-31



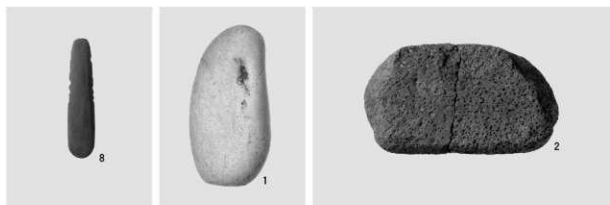
P-23



P-24

P-26

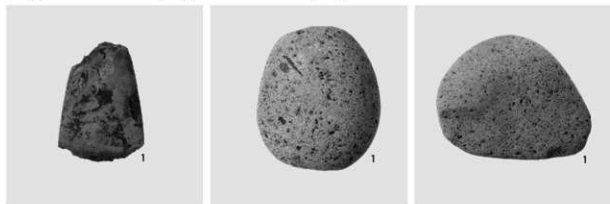
P-33



P-38

P-48

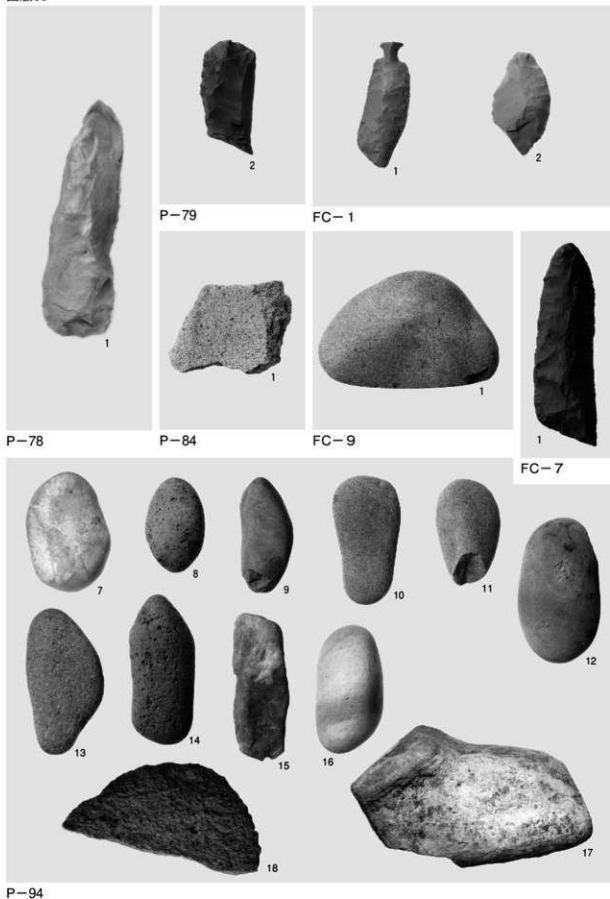
P-46

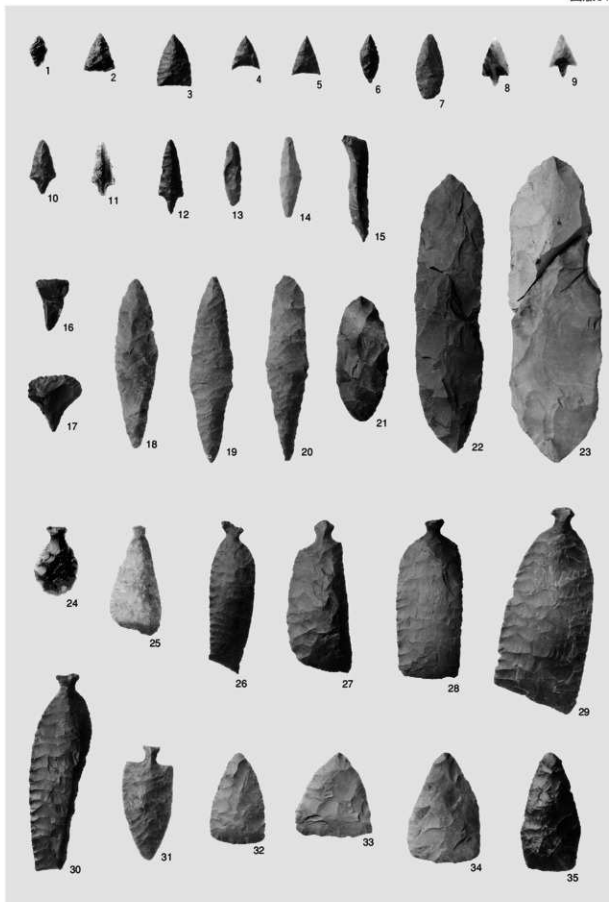


P-72

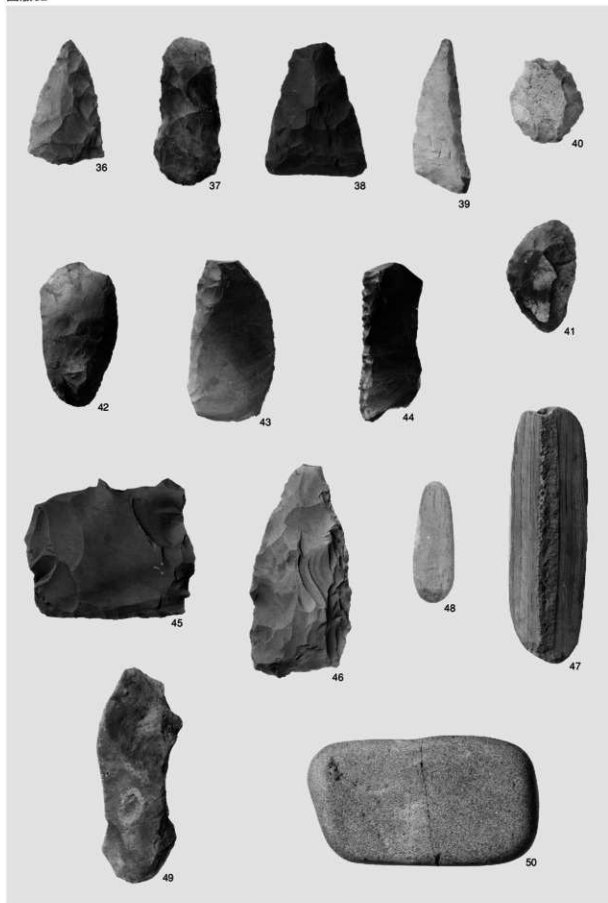
P-74

P-82

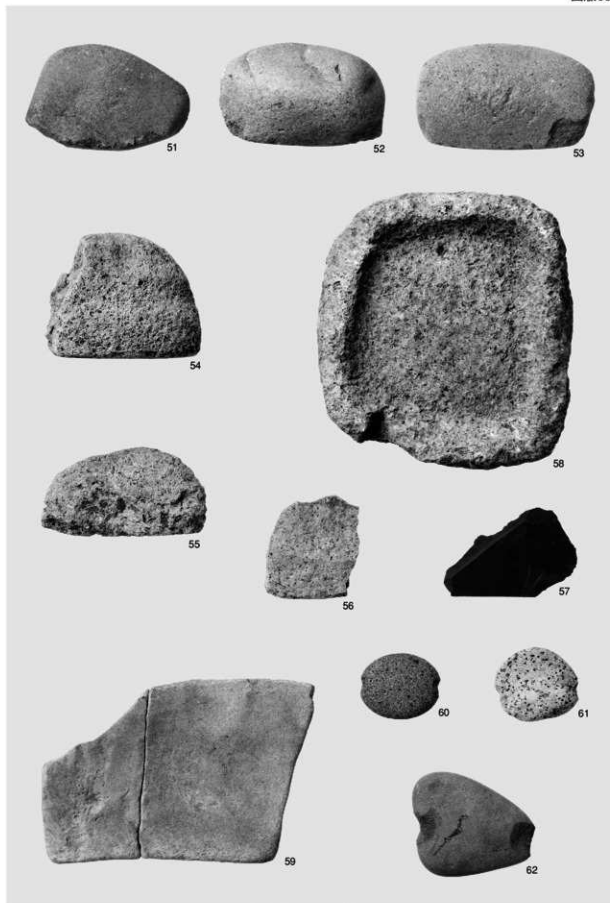




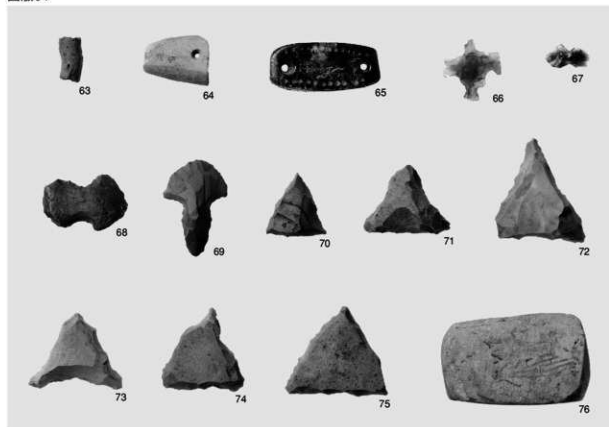
包含層の石器 (1)



包含層の石器 (2)



包含層の石器 (3)



包含層の土製品・石製品

引用参考文献

論文・書籍等

- 石岡憲雄 1986 「施文原体の変遷－円筒土器」『季刊考古学17』 雄山閣
- 大泰司統 2003 「渡島半島の縄文時代後期前葉」『東北・北海道の十勝内I式再検討－資料集－』
海峽土器編年研究会
- 大沼忠春 1981 「北海道中央部における縄文時代中期から後期初頭の編年について」『考古学雑誌66－4』
日本考古学会
- 大沼忠春 1984 「道南の縄文前期土器群の編年について」『北海道考古学20』 北海道考古学会
- 大沼忠春 1986a 「道南の縄文前期土器群の編年について(II)」『北海道考古学22』 北海道考古学会
- 大沼忠春 1986b 「施文原体の変遷－東廻路式土器」『季刊考古学17』 雄山閣
- 大沼忠春 1989 「円筒土器様式」『縄文土器大観1』 小学館
- 小笠原忠久 1996 「北海道円筒土器」『日本土器事典』 雄山閣
- 小保内祐之 2008 「陸奥大木系土器(榎林式・最花式・大木10式併行土器)」『総覧縄文土器』
『総覧縄文土器』刊行委員会
- 葛西智義 1988 「縄文時代中期末葉から後期前葉の土器について」『文京考古6』 札幌学院大学考古学研究会
- 加藤邦雄 1994 「縄文尖底土器」『縄文文化の研究3(第2版)』 雄山閣
- 茅野嘉雄 2008 「円筒下層式土器」『総覧縄文土器』 『総覧縄文土器』刊行委員会
- 児玉作左衛門・大場利夫 1954 「函館市春日町出土の遺物について」『北方文化研究報告9』 北海道大学
- 小山正忠・竹原秀雄 2007 「新版標準土色帖29版」 日本色研事業株式会社
- 鈴木克彦 1989 「最花式(中の平皿式)土器」『縄文土器大観1』 小学館
- 鈴木克彦 1999 「北海道渡島・松山地域の中期末葉から後期初頭の編年」『北海道考古学35』 北海道考古学会
- 高橋正勝 1994 「北海道南部の土器」『縄文文化の研究4(第2版)』 雄山閣
- 戸町賢二・土屋 篤 2000 『北海道の石』 北海道大学図書刊行会
- 成田滋彦 2003 「最花式土器－在土器群の様相－」『研究紀要8』 青森県埋蔵文化財センター
- 福田祐二 2005 「亀田半島における前期末葉～中期初頭の様相」『東北・北海道の縄文時代前期末葉～中期初
頭土器の課題－資料集－』 海峽土器編年研究会
- 三宅徹也 1989 「円筒土器下層様式」『縄文土器大観2』 小学館
- 三宅徹也 1994 「円筒土器」『縄文文化の研究3(第2版)』 雄山閣
- 武藤康弘 2008 「表館式・早稲田6類土器」『総覧縄文土器』 『総覧縄文土器』刊行委員会
- 村越 潔 1984 「増補 円筒土器文化」 雄山閣
- 山田 央 2001 「北海道南西部における縄文時代中期末葉の土器について」『渡島半島の考古学』
北海道考古学情報交換会20周年記念論集作成実行委員会

団体・組織刊行物

- 本古内町史編纂委員会 1982 『本古内町史』 本古内町
- 北海道火山灰命名委員会 1982 『北海道の火山灰』 北海道火山灰命名委員会
- 日本ベドロロジー学会 1997 『土壌調査ハンドブック 改訂版』 博友社
- 南北北海道考古学情報交換会編 1995 『円筒土器下層式図録集』 南北北海道考古学情報交換会
- 南北北海道考古学情報交換会編 1996 『円筒土器下層式図録集II』 遺情編 南北北海道考古学情報交換会

埋蔵文化財発掘調査報告書

- 青森県教育委員会 1975 「中の平遺跡発掘調査報告」
- 恵山町教育委員会 1986 「日ノ浜砂丘1遺跡」
- 乙部町教育委員会 1976 「元和」
- 本古内町教育委員会 1974 「札吉遺跡」
- 本古内町教育委員会 1991 「釜谷4遺跡」
- 本古内町教育委員会 1998a 「亀川2遺跡」
- 本古内町教育委員会 1998b 「泉沢3遺跡」
- 本古内町教育委員会 1999 「本古内町 釜谷遺跡」
- 本古内町教育委員会 2001 「新道2遺跡」
- 本古内町教育委員会 2003a 「大釜谷3遺跡」
- 本古内町教育委員会 2003b 「泉沢2遺跡A地点」

- 本古内町教育委員会 2003c 「泉沢2遺跡B地点」
 本古内町教育委員会 2004a 「泉沢2遺跡C地点」
 本古内町教育委員会 2004b 「蛇内遺跡」
 知内町教育委員会 1972 「浦元遺跡」
 知内町教育委員会 1979 「知内川中流域の縄文時代遺跡」
 戸井町教育委員会 1989 「蛭子川2遺跡」
 戸井町教育委員会 1992 「戸井貝塚Ⅰ」
 戸井町教育委員会 1993a 「戸井貝塚Ⅱ」
 戸井町教育委員会 1993b 「戸井貝塚Ⅲ」
 戸井町教育委員会 1994 「戸井貝塚Ⅳ」
 戸井町教育委員会 1995 「蛭子川2遺跡(2)」
 戸井町教育委員会 2001 「高屋敷川1遺跡」
 函館園芸事業団 1974 「西桔梗」
 函館市教育委員会 2003 「豊原4遺跡」
 北海道開拓記念館 1976 「札苺」
 北海道第四紀研究会 1974 「西股」
 松前町教育委員会 1974 「松前町大津遺跡発掘報告書」
 松前町教育委員会 1988 「寺町貝塚」
 松前町教育委員会 1983 「白坂」
 南茅部町教育委員会 1996 「大船C遺跡」
 南茅部町埋蔵文化財調査団 1992 「八木B遺跡」
 南茅部町埋蔵文化財調査団 1993 「八木A遺跡 ハマナス野遺跡」
 南茅部町埋蔵文化財調査団 1995 「八木A遺跡Ⅱ ハマナス野遺跡」
 南茅部町埋蔵文化財調査団 1997 「八木A遺跡Ⅲ 八木C遺跡」
 森町教育委員会 1975 「鳥崎遺跡」
 八雲町教育委員会 1992 「コタン温泉遺跡」
 八雲町教育委員会 1995 「浜松5遺跡」
 (財)北海道埋蔵文化財センター 1985 「湯の里遺跡群」 北埋調報18
 (財)北海道埋蔵文化財センター 1986a 「湯の里3遺跡」 北埋調報32
 (財)北海道埋蔵文化財センター 1986b 「本古内町建川1・新道4遺跡」 北埋調報33
 (財)北海道埋蔵文化財センター 1986c 「本古内町札苺遺跡」 北埋調報34
 (財)北海道埋蔵文化財センター 1987a 「上磯町矢不來2遺跡」 北埋調報37
 (財)北海道埋蔵文化財センター 1987b 「本古内町建川2・新道4遺跡」 北埋調報43
 (財)北海道埋蔵文化財センター 1988 「本古内町新道4遺跡」 北埋調報52
 (財)北海道埋蔵文化財センター 1998 「上磯町茂別遺跡」 北埋調報121
 (財)北海道埋蔵文化財センター 2004 「森町湯川左岸遺跡-A地区-」 北埋調報208
 (財)北海道埋蔵文化財センター 2005a 「北檜山町生潤2遺跡」 北埋調報214
 (財)北海道埋蔵文化財センター 2005b 「共和町リヤムナイ3遺跡(1)」 北埋調報218
 (財)北海道埋蔵文化財センター 2006a 「共和町上リヤムナイ遺跡・リヤムナイ3遺跡(2)」 北埋調報227
 (財)北海道埋蔵文化財センター 2006b 「森町三次郎川右岸遺跡」 北埋調報233
 (財)北海道埋蔵文化財センター 2006c 「森町森川3遺跡(2)」 北埋調報234
 (財)北海道埋蔵文化財センター 2007 「北斗市館野遺跡(1)」 北埋調報237
 (財)北海道埋蔵文化財センター 2008 「千歳市梅川4遺跡(1)」 北埋調報253
 (財)北海道埋蔵文化財センター 2010a 「森町石倉1遺跡(2)」 北埋調報266
 (財)北海道埋蔵文化財センター 2010b 「千歳市梅川4遺跡(2)」 北埋調報269
 (財)北海道埋蔵文化財センター 2011a 「本古内町本古内2遺跡」 北埋調報278
 (財)北海道埋蔵文化財センター 2011b 「本古内町大平遺跡・大平4遺跡」 北埋調報280

報告書抄録

ふりがな	きこないちょうへびない2いせき							
書名	木古内町 蛇内2遺跡							
副書名	北海道新幹線建設事業埋蔵文化財発掘調査報告書							
巻次	なし							
シリーズ名	財団法人 北海道埋蔵文化財センター調査報告書(北埋調報)							
シリーズ番号	第281集							
編著者名	立川トマス・菊池慈人・新家水奈・芝田直人・酒井秀治・佐藤和雄							
編集機関	財団法人 北海道埋蔵文化財センター							
所在地	〒069-0832 江別市西野幌685-1 TEL(011)386-3231 FAX(011)386-3238 E-mail mail@domaibun.or.jp ホームページ http://www.domaibun.or.jp							
発行機関	財団法人 北海道埋蔵文化財センター							
発行年月日	平成23(西暦2011)年 8月31日							
ふりがな 収録遺跡	ふりがな 所在地	コード		北緯 116K000m(J20)	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
へびない2いせき 蛇内2遺跡	木古内町 上磯郡木古内 町字札司508 ほか	01334	B-05-19	41度41分 48.90621秒	140度27分 17.07411秒	20090507 ~20091031 20100506 ~20100702	10,430㎡ 850㎡	北海道新幹 線建設に伴 う記録保存
所収遺跡名	種別	主な時代		主な遺構		主な遺物		
蛇内2遺跡	遺物包含地	縄文時代 早期後半・前期・ 中期後半・後期前葉		竪穴住居跡15軒 土坑96基(うちフラスコ状土坑8基)		土器 石器等 (石鏝、スクレイパー、剥片、礫等)		
要約	平成21-22年度の2か年の調査報告である。遺跡は、JR木古内駅から北西へ約2.8km、蛇内川左岸の海岸段丘上に立地している。地形はほぼ平坦で、標高は10~12mである。 遺跡からは、主に縄文時代早期後半・前期・中期後半・後期前葉の遺構・遺物が検出されている。竪穴住居跡15軒、土坑96基(うちフラスコ状土坑9基)が確認された。遺物は土器32,888点、石器等93,284点の合計126,172点が出土している。							

遺跡番号は北海道埋蔵文化財包蔵地周知資料登録番号、経緯度は世界測地系による。

北海道埋蔵文化財センター調査報告書 第281集

木古内町 蛇内2遺跡

— 北海道新幹線建設事業埋蔵文化財発掘調査報告書 —
平成23年 8 月31日発行

編集・発行 財団法人 北海道埋蔵文化財センター
〒069-0832 江別市西野幌685番地-1
TEL (011)386-3231 FAX (011)386-3238
[E-mail] mail@domaibun.or.jp
[URL] http://www.domaibun.or.jp

印刷 札幌大同印刷株式会社
〒004-0003 札幌市厚別区厚別東3条2丁目1番1号
TEL (011)897-9711 FAX (011)897-9715